

生徒会活動ってめっちゃ大切やねん!

現在生徒会本部役員選挙の立候補者の受付を行っていますね。16日が受付最終日でしたが、立候補者が定数に満たないことから受付期間が延長されています。

現在校則の見直しに学校を挙げて取り組んでいます。決して派手な動きではないにしろ、確実に一步一步進んでいます。みなさん一人ひとりに関わる問題ということで、どの人にも他人事ではなく、自分事として捉えることが求められています。「自分がやらなくてもきつと誰かがやってくれる。」とか「別に自分じゃなくてもいいやん。」みなさんの全員がこんな風に考えてしまったらどうなるでしょう。



自分達の学校生活を自分達の手で真剣に考え、できることを実行することってすごく大切だと思うよ。その方が絶対楽しいよ。もちろん先生方のサポートや助言は必要不可欠です。「自分達だけで」という風には行きませんが、やっぱり生徒中心でないとね。

確かに立候補するとすると勇気がいると思います。軽いノリでは行けないでしょう。担当の先生によると立候補を検討してくれている人は何名かいるようです!不安な気持ちはあると思いますが、立候補してほしいな。

相手の気持ちを想像することができる生徒。

これは今年度グランドデザインの「目指す生徒像」の4つ目に挙げた項目です。今年度新たに加えました。SNSの発達により目と目を見て直接対話するコミュニケーションが減ってきた現在、特に必要かつ重要な力だと考えたからです。

ここ最近本校でもSNSを通じて無断で画像を上げ、それが原因でトラブルになることが何件か起こっています。ひょっとしたら我々が掴んでいないこともあるかもしれませんが。上げた方はほんの軽い気持ちかもしれません。しかし、当事者はとても嫌な気持ち、悲しい気持ち、腹立たしい気持ちになっているのです。

もし、自分が当事者なら一体どのように感じるか、相手の立場に立って気持ちを想像してみなさい。「この行為は本当にしても大丈夫なのか。」をする前に一度よく考えなさい。そうすれば思い止まることができるはずです。その時の軽いノリでやっ

令和三年度 香芝北中学校 生徒会本部役 定員

会長	一名
副会長	一名
書記	二名
会計	二名

立候補受付期間
十一月八日(月) から十一月十六日(日)

告示

た行動が、場合によっては取り返しのつかないことにつながります。繰り返します!相手の気持ちを想像することができる生徒になってください。

第4回香芝北中学校運営協議会を開催しました。

11月10日(水)、この日は授業参観でしたので、まず5時間目の授業を観ていただきました。その後協議会を開催しました。最初修学旅行や校外学習の報告等を行いました。今回の【議題1】は「全国学力・学習状況調査(通称全国学テ)の結果考察について」でした。3年生が5月に国語・数学の2教科のテストを受けました。いろいろわかったことがあるのですが、中でも「一定の条件に従って書くあるいは説明する力」に課題があることがわかりました。10月の職員会議で先生方にすべての教科の授業でその機会をなるべく多く取り入れてもらうように話しました。



<写真は第1回目のもので!>

これ以上の上谷が気になったのが学習状況調査の質問に対する回答です。「学校に行くのは楽しいと思いますか」という質問に対して肯定的(「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」)な回答が令和3年も令和元年(前回)も76~77%です。上谷としては8割はそう思ってもらって思っています。委員さんに意見を求めました。「『友達と協力するのは楽しいと思いますか』の回答が90%を超えているので友達だけが原因じゃないのでは。」「様子を見てみると苦手なことがあると行きたがらない。」「勉強のことが大きいのでは。『好きな教科』は『わかる教科』、できた時に認めてもらえることが好きになるきっかけでは。」「これらの意見をいただきました。上谷としてはみんなの意見も聴いてみたい。よかったら校長室に来て話を聴かせてください。



【議題2】は「今後の部活動の在り方について」でした。校区内の小学校の児童数から今後の生徒数をシミュレーションすると年々クラス数が減っていきます。先生の数は法律によりクラス数を基に決まりますから、先生の数が減っていくことになる訳です。つまり数年後には現在のような運営はできないということです。また部活動指導員のこともあります。その時になって考えていたら遅いと思うので、今後の在り方を考える委員会を立ち上げたいと提案させていただきました。

【議題3】は「校則の見直しについて」です。これまでも進捗状況は説明させていただいていました。今回は頭髪について意見を伺いました。「ツブロック」については「良くないと思う。」意見が大半でした。「カッコいいから」という理由だけでOKにするのはどうかと思うという意見等。「髪型に男女の区別をなくすこと」についてはなぜ区別をなくすのか(性的マイノリティに関する理解)ということをきちんと押さえないといけないという意見等。このように1時間半にわたり熱心な論議が行われました。